

法人の理念

キリストの愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護りその人格の尊厳を尊重します。

2021年度

11月園だより



円町まぶね隣保園
京都市中京区西ノ京北円町50
TEL (075) 462-8829
携帯 (080) 4069-0682
(080) 4299-1644

今月のみことば

「私の恵みはあなたに十分である」
(コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章9節)

爽やかな秋になりました。お芋ほりやみかん狩りなどが楽しみな季節です。様々な野菜や果物を目の前にすると「私（神様）の恵みは十分である」という聖書の言葉が浮かんできます。けれども、いつでもそのようなことを考えられるわけではありません。色々なことが起こる日々の中では、「こんなはずじゃなかったのに」「どうしてこんなことが起きるの」と言いたくなることの方が多いのではないのでしょうか。身近にあるたくさんの恵みに感謝できず、足りないことにばかり目が向いてしまいます。

そんな私たちも、例えば病気など何か困難にあうと、それまで何とも思っていなかったことが、急に大切なものに見えるようになることがあります。また自分が弱くなって初めて初めて聞こえてくる声もあります。今まで「何もない」と思っていたところにも確かにある神様の恵み。それらに気付けた時、私たちの世界はまた広がっていくのではないのでしょうか。

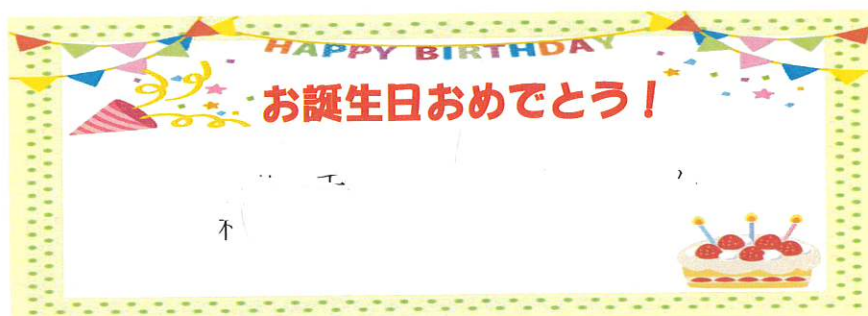
また普段は恥ずかしかったり、何事も自分がかんばらないといけな思っていて、なかなか人に相談したりすることができないかもしれません。けれど、思い切って「実は困っています」と声を出してみることで、そこから新しい道が開けることもあります。保育園には豊かな経験を持った先生たちがいますし、たとえすぐには解決しなくても、悩みは一人で抱えるよりも、二人三人で一緒に抱える方が楽になります。そしてそのような輪の中にも、共にいて下さっている神様の恵み・働きを、私たちは感じる事ができるのではないかと思います。

チャプレン・牛田匡

苦情解決委員会

苦情解決責任者 重富喜恵子
苦情受付担当者 沼津 孝治
第三者委員 畑 健次郎 笹野 芳照
申 英子 米田 雅子

朝晩は冷え込み、秋の深まりを感じるようになりました。まだ、幼児クラスの園外保育で公共交通機関に乗ることは控えているため遠くには行けませんが、お散歩や園外に出かけています。イチョウ、モミジ、サクラなどの色づいた葉っぱや木の実を拾ってあそびます。澄んだ空気、高い空、色々な形の雲、秋の自然に触れ、神様がくださった美しい自然の恵みに感謝したいと思います。



収穫感謝祭について

毎年、収穫感謝祭には家から野菜を持ってきてもらっていましたが、コロナにより野菜の持ち寄りはありません。収穫感謝祭のみ行います。

園外保育（お弁当）

かせ組
そら組
たいよう組
かせ組
たいよう組
そら組



今月のねらい

ありがとう

- しいの実** 秋の自然に触れ、ありがとうの気持ちを知る。
- たんぽぽ** 秋の自然やたくさんの実、ありがとうの気持ちを持つ。
- みず** 自然を見つけて喜び、秋の実りに感謝する。

ありがとう

- かせ** 秋の実りに感謝する。
- そら** 秋の実り、恵みに感謝する。
- たいよう** 秋の実り、自然や恵みに感謝する。



11月の行事

- 16日(火)乳児健診 収穫感謝祭
- 26日(金)お誕生会
- ※中京こども大会 コロナにより中止 避難訓練---未定



新しい友だちを紹介します。
しいの実組

たんぽぽ組

諸費納入日
25日(木)
26日(金)

